② 主たる観光旅客の属性及び競合する他地域との差別化並びに観光旅客の主たる滞在促進地区からの観光圏の区域内の具体的な動線等を勘案した各事業の役割や関係者間の連携等

なお、観光地域づくり実施基本方針の策定に当たっては、(1)に掲げる事項に係る取組の結果を踏まえるとともに、広域的な観光地域づくりに関する基本的な方針との整合性を確保することが期待される。また、(5)に掲げる事項に係る取組の結果や、強みや弱み、機会や脅威の分析結果に基づき観光地域づくり実施基本方針を定期的に改善すること。

(3) 観光旅客の来訪及び滞在の促進

滞在交流型観光の振興のためには、二泊三日以上の滞在を可能とする観光旅客の具体的な動線及び観光圏の区域内の魅力的な空間の形成に留意しつつ、観光旅客の滞在の拠点となる主たる滞在促進地区を中核として、以下に掲げる事項を一体的かつ有機的に提供することを通じて、観光圏の区域内における滞在・回遊を促進し、観光旅客のリピーターを確保することが重要である。

このような観点から、観光旅客の来訪及び滞在の促進に係る事業を個別に企画・立案するのではなく、地域を代表する農林水産業等の産業や、自然、伝統、文化、景観等の個性ある資源を活用し、幅広い関係者の連携により、その地域ならではの楽しみ方を加える等の創意工夫ある滞在コンテンツを企画・立案した上で、滞在促進地区における宿泊や観光圏の区域内における移動手段を組み合わせた魅力ある滞在プログラムとして観光旅客に対して提案できるよう、事業相互間の一体的かつ有機的な連携を図ること。

また、国内外からの観光旅客の旅行形態に占める個人旅行の割合が増加してきていることに鑑み、多様なニーズに応じたサービスや滞在コンテンツの開発、提供を行う等戦略的な取組の実施を図ること。

さらに、外国人観光旅客の来訪及び滞在をより一層促進するため、外国人観光旅客の視点に立った滞在コンテンツの開発及び提供、受入環境の構築等を行うこと。

① （略）

② 観光資源を活用したサービスの開発及び提供

観光圏における滞在・回遊を促進するためには、滞在コンテンツ及びそれらを組み合わせた滞在プログラムの充実を図ることが重要であることに鑑み、滞在コンテンツについて、単に見る観光メニューだけではなく、農業体験、自然を活かしたアクティビティ等の体験・交流・学習の参加型メニューなど、長時間の滞在の契機となるように魅力の向上を図ること。また、特に外国人観光旅客を対象とした滞在コンテンツ及び滞在プログラムの充実を図るに当たっては、観光立国推進基本計画（平成二十九年三月二十八日閣議決定）等において、観光資源としての活用を図ることとされている、文化財、古民家等の歴史的資源、博物館・美術館、国立公園等を積極的に活用するとともに、わかりやすい多言語解説の整備等の滞在コンテンツの魅力を十分に感じることができるような取組も併せて行うことが期待される。これらの取組を行う際には、他地域

② 主たる観光旅客の属性及び競合する他地域との差別化並びに観光旅客の主たる滞在促進地区からの観光圏の区域内の具体的な動線等を勘案した各事業の役割や関係者間の連携等

なお、観光地域づくり実施基本方針の策定に当たっては、(1)に掲げる事項に係る取組の結果を踏まえるとともに、広域的な観光地域づくりに関する基本的な方針との整合性を確保することが期待される。また、(5)に掲げる事項に係る取組の結果や、強みや弱み、機会や脅威の分析結果に基づき観光地域づくり実施基本方針を定期的に改善すること。

(2) 観光旅客の来訪及び滞在の促進

滞在交流型観光の振興のためには、二泊三日以上の滞在を可能とする観光旅客の具体的な動線及び観光圏内の魅力的な空間の形成に留意しつつ、観光旅客の滞在の拠点となる主たる滞在促進地区を中核として、以下の①から④までに掲げる事項を一体的かつ有機的に提供することを通じて、観光圏内における滞在・回遊を促進し、観光旅客のリピーターを確保することが重要である。

このような観点から、観光旅客の来訪及び滞在の促進に係る事業を個別に企画・立案するのではなく、地域を代表する農林水産業等の産業や、伝統、文化、景観等の個性ある資源を活用し、幅広い関係者の連携により、その地域ならではの楽しみ方を加える等の創意工夫ある滞在コンテンツを企画・立案した上で、滞在促進地区における宿泊や観光圏内における移動手段を組み合わせた魅力ある滞在プログラムとして観光旅客に対して提案できるよう、事業相互間の一体的かつ有機的な連携を図ること。

① （略）

② 観光資源を活用したサービスの開発及び提供

観光圏における滞在・回遊を促進するためには、滞在プログラムの充実を図ることが重要であることに鑑み、その構成要素となる滞在コンテンツについて、単に見る観光メニューだけではなく、農業体験、自然を活かしたアクティビティ等の体験・交流・学習の参加型メニューなど、その魅力の向上を図ること。その際、他地域と類似した画一的な滞在コンテンツとならないよう、他地域と異なる地域の強みや魅力を常に意識した上で取組を行うことが重要である。